高校生国語現代文　文章問題を解く前に知っておきたい知識　002　指示語

指示語の確認

大学入試では指示語の内容を直接問う問題は少ないですが、読解問題に指示語から絡んでくることはよくありますので、しっかり確認しておきましょう。

あの・その・この・あれ・それ・これ・これら・このように

これらの指示語はどのように使われるのでしょうか。例文で確認しましょう。

例文

1　カフェでコーヒーとチョコケーキを注文した。それはとても香りの良い飲み物だった。

指示語の　それ　はコーヒーです。

2　昔おばあちゃんがつくってくれた草餅が懐かしい。あの味はいまでも覚えている。

指示語の　あの　は、草餅です。

3　ショーケースにはガトーショコラやシュークリーム、アップルパイなどたくさんのお菓子が並んでいる。これらのお菓子はパティシエの店長がつくったものだ。

指示語の　これら　はガトーショコラ・シュークリーム・などの複数のお菓子のことです。

これ　だと一点ですが、

これら　だと少し範囲が広くなる場合や複数です。

例文

4　水資源が豊かな国なら水力発電ができるだろうし、広い平野が多いところなら太陽光パネルをたくさん設置できそうだ。また、鳥などがぶつからない対策をすれば風力発電もいいだろう。

このように、化石燃料に頼らない方法はいくつかありそうだ。

指示語　このように　は水力発電や風力発電などの様々な発電方法で、複数の文章の言葉を指してします。

このように　は、広い範囲・複数文章をまとめる役割があり、その付近の結論を導き出す場合に多く使われます。

これまで見てきたように、指示語の内容は原則として前にありますが、どの程度前なのかは文章によるので直前とは限りません。場合によって数行前、十数行前などということもあります。

まとめ

この　その　あの　これ　それ　あれ・・・　基本的に一点を指す。

これら　それら　あれら　・・・　複数や少し範囲が広くなる。

このように　・・・　その付近や複数文章のまとめ・これまでをまとめる・その付近の筆者の主張を言う時

指示語の内容が後にある場合

指示語の内容が後にある場合もあります。普段はあまり見かけませんが、特に小説などで使われる方法です。

例文

5　私は行きつけのレストランのいつもの席に座り、それを注文した。読みかけの小説の続きを数ページ進めていると、やがてハンバーグセットが運ばれてきて、食欲をそそる香りがテーブルに広がる・・・

この文章の場合、指示語の　それ　は、ハンバーグセットのことで、指示語の内容が指示語より後にあります。

こうしたことは多いとは言えませんが、指示語の内容は前とは限らないと覚えておきましょう。

それでは次のページの例題をやって確認してみましょう。

例題D　次の文章で、傍線部の指示語の内容はどの言葉か。

1　ショッピングモール内のセレクトショップで帽子を買ったが、それはサイズがあまりに大きすぎた。

2　パタゴニアカイツブリはダンスが上手いが、印象的なのはなんと言ってもその目だ。

3　私はビルの屋上で空を見上げながら「あの日は本当にひどい天気だった」と、昨年の山の近くでのキャンプの日のことを思いだしていた。

4　スケルツォやバラードに比べると、ワルツやマズルカはショパンの真髄を味わえる作品とは言えないかもしれない。これらはやはり小品であり、魅力的ではあるが核となる作品ではないと思う。

5　この選手は本当にテクニックがすごい。スライスなのかドロップショットなのかが、打つ瞬間まで全くと言っていいほど同じフォームなのでわからない。対戦相手からしたらどっちのショットを打ってくるのか予想がつきにくく、かなりやっかいな相手だろう。ゴロウ選手のテニスを見てそう思った。

例題Dの解答と解説

1　帽子　・・・直前の帽子を指しています。

2　パタゴニアカイツブリ　・・・　鳥のパタゴニアカイツブリが何のことなのかわからなくても、その目のことですから、この文章に目がありそうなのはパタゴニアカイツブリしかありません。

3　キャンプ（の）または　キャンプの日・・・指示語の内容が後にあるパターンです。

4　ワルツやマズルカ・・・耳慣れない言葉が出てきても、文章の内容を捉えればわかるはずです。
「真髄を味わえる作品とは言えない」と「核となる作品ではない」は同じような意味ですから、これら　は、ワルツやマズルカ　のことだとわかります。

5　ゴロウ（選手）・本当にテクニックがすごい。
一つ目は簡単だと思います。
二つ目の　そう思った。　は、誰が思ったのか考えればわかるはずです。この文章を書いた人が思ったのであり、対戦相手が思ったのではありません。
代入してみるとわかりやすいでしょう。
筆者は　「ゴロウ選手は本当にテクニックがすごい」と思った。
「ゴロウ選手のテニスを見て本当にテクニックがすごい」と思った。
「かなりやっかいな相手」　と思ったのは筆者ではありません。
対戦相手からすると「かなりやっかいな相手」だろう、筆者が想像して言っているのです。